

各位

会 社 名 株式会社Ubicomホールディングス 代表者名 代表 取 締 役 社長 青木 正之 (コード番号:3937 東証プライム市場) 問合せ先 L級新行員コーポレート戦略本紙 北岡 明哲

同一で 7C 上版新日位員 1-47-17 戦略本前式 7日回 97日 (TEL. 03-5803-7339)

## オージス総研との資本業務提携に関するお知らせ

株式会社Ubicomホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:青木正之、証券コード: 3937 以下「Ubicom」)は、経済安全保障推進法を背景とした需要拡大に対応するため、大量採用・教育実施という戦略的投資を実行しております。この度は、2024年3月期第2四半期決算資料において、ご案内しております、複数の大手企業との資本も含めた業務提携において、株式会社オージス総研(本社:大阪市西区、代表取締役社長:中沢正和、以下「オージス総研」)と、両社のリソースを活用したアジアパシフィック地域でのDXサービスの提供拡大に向け、戦略的パートナーシップを加速するために資本業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は適時開示の軽微基準に該当するため、開示事項を一部省略して記載しております。

#### 1. 資本業務提携の理由及び目的

従来からUbicomは、オージス総研との業務提携により、両社の持続的な事業発展の実現のため関係を構築してまいりました。

この度、オージス総研がUbicomの株式を保有することに基づく資本関係を結ぶことにより、以下のスコープにおいて、戦略的パートナーシップを加速し、両社の保有するリソースの相乗効果を図り、ビジネスの拡大を目指してまいります。

- ① Ubicomのフィリピン子会社であるAWS (Advanced World Solutions, Inc.) にて、オージス総研から 出向者を迎え入れ、オージス総研向けのITソリューション開発体制及び保守運用体制をフィリピン のR&Dセンターにて人員をさらに拡大し、スケールさせていくモデルを構築してまいります。
- ② Ubicom及びオージス総研と共同で、フィリピンをはじめとするアジア諸国(アジアパシフィック地域)におけるオージス総研のITソリューションの販売活動及びマーケティングを推進します。
- 2. 資本業務提携に係る内容及び事業計画について 上記の提携により、下記の目的達成を目指してまいります。
- ① Ubicomのフィリピン子会社であるAWS (Advanced World Solutions, Inc.) において、オージス総研専用の開発ラボ「OGIS-Ubicom Philippines Laboratory」を拡大することにより、初年度である2024年度(2024年4月~2025年3月)の年間発注額で、3億円以上の開発体制を構築し、さらに、オージス総研におけるリーダークラスの出向者迎え入れを同時に実施し、Ubicomの経済安全保障推進法を背景とした事業拡大をオージス総研と共に長期継続的にスケールさせてまいります。
- ② Ubicom及びオージス総研は、アジアパシフィック地域において共同でのオージス総研のITソリュー

ションの販売活動及びマーケティングを行うことにより、2030年度(2030年4月~2031年3月)の年間売上高で、10億円を目指してまいります。

### 3. 資本提携の内容

オージス総研は、以下の概要で当社の株式を取得する予定です。

取得する株式の種類	普通株式
新たに取得される株式の数及び発行済株式	未定ですが、東京証券取引所の定める有価証券上場
数に対する割合	規程上の適時開示基準には該当しない見込みです。
取得方法	市場買い付け

### 4. 日程

Ubicom取締役会決議日	2024年 1 月 18日
オージス総研取締役会決議日	2024年 1 月30日
契約締結日	2024年2月2日

### 5. 資本業務提携先の概要(2024年1月末現在)

名称	オージス総研株式会社		
所在地	大阪府大阪市西区千代崎3丁目南2番37号		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中沢 正和		
事業内容	情報サービス業		
	オープンソースソフトウェアの活用・オブジェクト指向技術・		
	クラウドサービス関連技術・アジャイル開発技術・データセン		
	ター運用やこれをベースにしたクラウドサービス・エンドポイ		
	ントを中心としたセキュリティなど。		
資本金	440百万円		
設立年月日	1983年6月29日		
従業員数	1,491名(単体)※2023年3月末現在		
大株主及び持株比率	大阪ガス株式会社 100%		
当社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	当 社 子 会 社 の Advanced World	
		Solutions, Inc. にて、出向に関する	
		人的関係があります。	
	取引関係	システム開発に関する営業上の取引	
		関係があります。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

# 6. 今後の見通し

本件は、中長期的に当社の業績及び企業価値向上に資するものと考えており、今後、当社業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

# (ご参考) 当社とオージス総研との資本業務提携契約締結の様子

